

## 11409その他の電気機械器具製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	18 ～ 19	2tトラックに荷積み時に上の荷物を降ろすときに、ステップを踏み外し、転落した際、左手をつき、手首を骨折した。	55	1	221	30～ 49
2	2020	1	21 ～ 22	製品を持って2階から1階へ階段を使い移動中、大雨で階段が滑りやすくなっていたため、最下段で転倒し、左右足首を骨折した。	31	1	413	10～ 29
3	2020	1	15 ～ 16	出荷用の板金部品（1860mm×50mm×100枚）を載せた専用コンテナを2段積みにして、台車に載せて出荷場所まで移動していた。その際、溝に被せてあった鉄板2枚の隙間に左前輪がはまり、台車が転倒して下敷きになり、右足首を骨折した。	56	2	362	50～ 99
4	2020	1	14 ～ 15	検査工程へ移動中、部品置場の棚に足が引っ掛かり転倒した。その際、右大腿骨を折った。	60	2	416	100 ～ 299
5	2020	1	18 ～ 19	工場内モータコイル巻線作業場で、巻線機の操作中、異音を感じ設備の巻線部位を確認した際、異物が左目に入り眼球破裂を負った。	51	4	169	10～ 29
6	2020	1	14 ～ 15	工事のお知らせに各宅訪問していた際、訪問先の飼い犬に右足太ももの後ろを咬まれ、はずみで転倒し、右太腿に犬咬創、左肩に肩痛を負った。	60	90	911	1～9
7	2020	1	11 ～	作業場で、機械に引っ掛かっていた、パーマ状の切粉（長さ1m×幅5mm×厚さ0.5mm程度）を、左手（軍手着用）で引っ張って取ろう	18	8	521	10～ 29

			12	としたところ、切粉で左手人差し指に切創を負った。				
8	2020	1	9 ～ 10	徒歩で歩道を移動中、左後方より進入してきた車に追突され、第7、11胸椎を圧迫骨折した。	50	17	231	1～9
9	2020	2	16 ～ 17	Sチューブ硬化炉で扉と炉体との間にパッキンを取り付ける際、扉の開閉を確認するため、扉（約30kg）を開けて閉めようとしたところ、両手で握っていたレバーのネジが抜け、その反動で体が後ろにのけぞり、約1.1mの硬化炉上部から下の床に背面から落下して腰を打ち、骨折した。	42	1	342	30～ 49
10	2020	2	11 ～ 12	工場中、3tトラックにリフト車で仮に置いた板金の荷物（高さ2mm×幅80cm）を一人で押し込み、積み込み作業をしていた。その際、トラックの荷台とパレットが前日の雨で湿気があり、思うようにスライドしなかったため、足を踏ん張り、力を入れたときに、左足のアキレス腱断裂を負った。	71	19	921	10～ 29
11	2020	2	17 ～ 18	工場内で作業中、小走りで移動し右に曲がろうとしたところ、滑って横転して階段の手すり部に右膝をぶつけ切創、打撲を負った。	19	2	417	50～ 99
12	2020	2	15 ～ 16	チョコレート製造機械を整備中、回転しているスクリューに指が巻き込まれ、右手人差し指の第一関節を切断した。	28	7	169	1～9
13	2020	2	16 ～ 17	半導体製造装置で材料の交換作業を実施中、装置の蓋が閉まらなかったため、干渉箇所を確認するため不自然な体勢で複数回開け閉めの作業を行った。その後、腰に軽い痛みを感じ、椎間板ヘルニアを発症した。	29	19	921	1000 ～ 9999
14	2020	2	8 ～ 9	事業所内でモータ製造作業を行う際、作業台の上でモータの置かれている方向を移動しようとモータ自体を滑らせて動かしたとき、勢いにつき過ぎ、作業台からモータが落下し、左足に当たり、左下腿に打撲擦過創を負った。	49	4	379	50～ 99

15	2020	2	11 ～ 12	工場内で、原反を切断機でカットした後、完成品を仮置きしたスライド台から台車に載せ替えようと両手で取ろうとした。その際、カット刃の近くに積み上げていたので、左手人差し指がカット刃に接触して切創を負った。	34	8	379	50～ 99
16	2020	2	14 ～ 15	工場では、完成品（1m16cm×1m33cm）を下ろす作業中、完成品パレットを固定する短いパイプを交換する際、転倒した。その際、左膝を骨折（疑い）した。	24	2	611	300 ～ 499
17	2020	2	10 ～ 11	構内で、休憩のため階段を下りた際、踊り場で左膝に捻挫を負った。	46	19	921	10～ 29
18	2020	2	9 ～ 10	車で外注先へ集配中、防波堤に衝突し、右膝・頭部・左前腕に打撲傷を負った。	65	17	231	30～ 49
19	2020	2	16 ～ 17	コンビニの駐車場でエンジンを切って駐車中、追突された。その際、腰椎、頸椎を捻挫した。	51	18	231	1～9
20	2020	3	23 ～ 24	キitting作業に従事中、ラインサイドの木枠がなくなり、隣接する工場の部品置き場へ移動し、木枠を運搬台車に載せるため、木枠を反転させた際、勢いがつきすぎ左手首の靭帯を断裂した。	42	19	522	500 ～ 999
21	2020	3	16 ～ 17	構内作業所で、冷蔵庫、プラスチック製品を手作業で組立作業中、電動ドライバーでビス止め作業を1日（900～1200台×2カ所）繰り返した際、頸椎捻挫、左肩関節捻挫、左上腕部に挫傷を負った。	48	19	921	30～ 49
22	2020	3	9 ～ 10	コンプレッサーのドレン水を排出するために、床のバケツを持つようとした際、軽度のぎっくり腰となり、頸椎症、腰椎症、末梢神経障害性疼痛を発症した。	20	19	921	100 ～ 299

23	2020	3	9 ～ 10	コンテナからリフトで荷卸し作業中、パレット前を歩いていたところ、後方からバックしてきたリフトに押し倒され、左足を骨折・挫傷を負った。	57	7	222	30～ 49
24	2020	4	9 ～ 10	物流倉庫の出荷スペース通路で、ローリフトを使って商品の運搬作業を行っているときに、付近にいた同僚に話し掛けようと立ち上がったところ、バランスを崩してローリフトから転落した。直後に、乗っていたローリフトが惰性で動いてきて、防火シャッターガードポールとの間に挟まれ胸椎椎体骨折した。	47	7	222	50～ 99
25	2020	4	11 ～ 12	工場内で場内清掃中、掃除機のコンセントを外したときの体勢が悪く、右肩を脱臼した。	31	19	921	1～9
26	2020	4	17 ～ 18	工場入口の開き戸を開けて工場内に入ろうとしたところ、開き戸の先に置かれていた台車に足が引っ掛かって転倒し、右脛骨顆間隆起骨折を負った。	57	2	362	50～ 99
27	2020	4	16 ～ 17	塗装室内で製品のマスクング作業中、近くにある乾燥炉内から発生したガスを吸い込み、頭痛・めまい・吐き気・手足に痺れの症状が出た。	42	12	514	300 ～ 499
28	2020	4	11 ～ 12	現場で、プラスチック製の箱を入替作業中、箱を持ち移動した際、パレットの角につまずき転倒し、左手をつき、左手首を骨折した。	56	2	379	50～ 99
29	2020	4	11 ～ 12	タルク造粒作業中、排出口から手を入れ清掃した際、ブレード刃に触れ、右手小指屈筋腱断裂を負った。	28	8	162	1000 ～ 9999
30	2020	4	9 ～ 10	お客様宅で、脚立に乗り作業中、脚立の安全確認後、腕を伸ばした際、右側に転落し、右手首を骨折した。	50	1	371	1～9
			11	工場内のツール交換台で加工刃物の交換中、固定台が脱落したた				10～

31	2020	4	～ 12	め、左手人差し指と中指に切創を負った。	30	8	151	29
32	2020	5	9 ～ 10	製造工程で、処理槽（深さ約150cm、60cm角）から予備槽へ、電動式ハンディポンプ（高さ約120cm、径約15cm）を使用して溶液を移送していた。ポンプ上部のモーターカバーが振動で外れて落下したので、ポンプを停止してカバーを取り付けた。再始動した際に再度カバーがずれ、ポンプに添えていた右手がモーターファンに接触し、裂傷を負った。	43	8	169	100 ～ 299
33	2020	5	0 ～ 1	工場内でネジを締め付ける作業をしていたところ、親指と手首に負担が掛かり、両側CM関節症と変形性関節症を発症した。	43	19	364	100 ～ 299
34	2020	5	17 ～ 18	工場内で、ネオリバ槽の昇温状態が遅く、確認のため設備内へ入った際、ネオリバ槽から薬液が突然吹き上がり、顔面と上半身に熱傷を負った。	44	12	514	1000 ～ 9999
35	2020	5	19 ～ 20	工場内で休憩後に職場へ戻る途中、通路を歩行中に右足を滑らせて後方に転倒し、右手を床につき、右手首を骨折した。	59	2	417	300 ～ 499
36	2020	6	19 ～ 20	担当設備成形機の部品の外観確認と箱詰め作業の際、成形機の金型から自動落下する部品を溜める部品箱を取り出そうと左手で持ち、手前下に引きながら右手で奥の取っ手を持つようとして、右手を成形機の下に入れたところ、右手人差し指が金型に挟まれ切断した。	20	7	164	1000 ～ 9999
37	2020	6	10 ～ 11	通常作業を行っている担当場所で、重さ約2kgのプラスチックボビンを両手に1つずつ持って運ぶ際に、腰をひねって腰部に筋線維断裂を負った。	34	19	391	50～ 99
38	2020	6	9 ～	作業所でNC旋盤を使用し手動操作で品物を回転させ、サイドペーパーで磨く作業をしていた。その際、軍手をはめたまま持ったため、品物と旋盤の間に軍手ごと右手が挟まり、右環指切断および	36	7	151	1～9

			10	右手掌部指神経断裂、右手掌に挫滅創を負った。					
39	2020	6	10 ～ 11	工場で、電池運搬作業と充電作業中、左膝を痛み、左大腿骨頸部疲労骨折を負った。	46	19	911	500 ～ 999	
40	2020	6	16 ～ 17	倉庫で、トラック荷台での作業中、パワーゲートが下がっているのに気付かず転落した。その際、両足を打撲した。	44	1	221	30～ 49	
41	2020	6	14 ～ 15	事業所の作業場でプレス加工中、ペダルに足が触れてプレス機が作動し、右手人差し指が巻き込まれて指先を切断した。	72	7	154	1～9	
42	2020	7	8 ～ 9	出張先でマスクを着用して勤務中、新型コロナウイルス感染症の陽性者である同僚と接触があった。数日後、自身にも咳と発熱の症状が出て、肺炎を起こした。	45	90	911	100 ～ 299	
43	2020	7	0 ～ 1	施設内で、基板のラックの蝶ネジ作業（取付、取り外し）中、位置により立位、中腰、しゃがんで作業を行っている。その際、腰椎椎間板ヘルニアを負った。	46	19	921	100 ～ 299	
44	2020	7	14 ～ 15	プラスチックパレットを立てた状態で移動中、所定場所に置く際、手が滑り、右足先端へ落下して、右足親指に内出血を負った。	37	5	379	1～9	
45	2020	7	19 ～ 20	同僚の感染判明後、悪寒、発熱の症状が現れ、2日後PCR検査で新型コロナウイルス感染症陽性となった。勤務中、マスクを着用していた。	20	90	911	100 ～ 299	
46	2020	7	19 ～ 20	新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者と勧告を受け、PCR検査を受け、陽性と判定された。勤務中はマスクを着用していた。	29	90	911	100 ～ 299	
47	2020	7	15 ～	休暇中、外食した際に飲食店内に、PCR検査陽性となった客がい	38	90	911	50～	

			16	て、感染したと考えられる。					99
48	2020	7	21 ～ 22	3日間感染者と同じ現場で作業をしていた。咽頭痛が出たので、PCR検査を受け、新型コロナウイルス感染症陽性となった。勤務中マスクを着用していた。	26	90	911	～ 299	100
49	2020	7	9 ～ 10	勤務中に頭痛が発生、PCR検査を受け、新型コロナウイルス感染症陽性と判明した。勤務中にマスクはしていたが、時々ずらしていた。	29	90	911	～ 299	100
50	2020	7	23 ～ 24	自宅で発熱し、2日後にPCR検査を受け、新型コロナウイルス感染症陽性と判明した。勤務中にマスク着用していた。	28	90	911	～ 299	100
51	2020	7	18 ～ 19	職場の同僚（後日新型コロナウイルス感染症陽性）と業務で濃厚接触し、PCR検査を受け陽性と判明した。勤務中はマスクを着用していた。	30	90	911	～ 299	100
52	2020	8	8 ～ 9	社有車で走行中、片側一車線の道路を横断しようとした際、確認不足により左側より進行してきた車両と接触し、左胸部打撲、腰椎挫傷、左足関節捻挫を負った。	25	17	231	～ 299	100
53	2020	8	8 ～ 9	社有車を運転中、片側一車線の道路を横断しようとした際、確認不足により左側より進行してきた車両と接触し、左鎖骨遠位端骨折、左肩関節・肩甲部挫傷を負った。	25	17	231	～ 299	100
54	2020	8	14 ～ 15	工場の倉庫内で、積み終えたばい煎機を昇降機に載せ、トラックの荷台から降ろそうとしたところ、トラックの後アオリに昇降機の端の部分を引っ掛けてしまい、ばい煎機が傾いて手で押さえようとしたが転倒し、ばい煎機の上部と床に右足の膝が挟まれ、右膝周囲骨折、靭帯損傷を負った。	41	4	612	～ 299	100
55	2020	8	9 ～	事業所構内で、箱内の製品（重量：40kg）を2人で持ち上げ定盤に移動するとき、箱下部に足が引っ掛かって両手が塞がった状態で床に転倒し、左臀部を強打し、左大腿骨頸部骨折および骨盤を打	33	2	612	～	1000

			10	撲した。				9999
56	2020	8	11 ～ 12	倉庫内で、製品を入れる箱を運んでいたとき、前方と足下が見えない状態だったので、平パレットにつまずいて転倒し、左膝を打撲した。	47	2	417	30～ 49
57	2020	8	10 ～ 11	作業場で、ホットマーカでマークチューブの作成中、チューブ出口が詰まったので、指で取り除こうとした。その際、機械を停止させていなかったため、カッターが下降し、左手人差し指に切創を負った。	36	8	169	10～ 29
58	2020	8	15 ～ 16	生産現場で、電線部品の組立に使用した副資材（潤滑剤）を保管棚に戻す作業中、床に足を取られ転倒した。その際、顎、胸部、両膝に裂傷、打撲を負った。	45	2	416	100 ～ 299
59	2020	8	16 ～ 17	工場で、スポンジを機械でカット作業中、スポンジが刃に絡まり、引っ張り出す際、刃に指が当たり、右手人差し指に切傷を負った。	63	8	169	50～ 99
60	2020	8	17 ～ 18	両面テープで付いている金属製パーツをマイナスドライバーで分解（取り外し）中、ドライバーが滑って金属製パーツの角部分に右手薬指が当たり、第一関節と第二関節の間に裂傷を負った。なお、その際にゴム手袋は着用していた。	37	3	521	50～ 99
61	2020	8	16 ～ 17	コイル試験器にコイル（12～13kg程度）をセットする際、不注意によりコイルが治具より落下して、コイルと試験器台の間に左手人差し指が挟まれて開放骨折した。	33	4	521	50～ 99
62	2020	8	10 ～ 11	工場内で、配管フランジの組立作業中、フランジ用ボルトを締め付けていたとき、腰部に痛みが生じた。	51	19	921	30～ 49
63	2020	9	2 ～	プラットホーム前で飲料水受け入れ業務対応中に、急いで作業をしており、ローリフトを乗車と同時に発進させたため、ステップから左足を滑らせて転落し、左足を巻き込む形で轢いて、外側側	49	7	222	100 ～



			3	副靱帯損傷および腓骨遠位端剥離骨折を負った。					299
64	2020	9	14 ～ 15	作業場で自動車エアコン部品の検査作業をしているとき、コンベアー左側に立ち部品を検査した後、検査品数を記録するため、コンベアー右側の机上の用紙に記入し作業位置の左側に戻ろうとしたところ、コンベアーカバーを留めているネジに右肘を当て、右肘を打撲した。	37	3	224	～	100 299
65	2020	9	10 ～ 11	クリーンルームで、顕微鏡測定作業中、椅子の高さが合わず、左膝を立てた状態で1時間作業をした際、左腓骨を折った。	43	3	417	～	100 299
66	2020	9	10 ～ 11	鉄板の段差のあるところを歩いていた際、足が滑って転倒し、左膝蓋骨を折った。	29	2	521	1～9	
67	2020	9	20 ～ 21	出社時に階段を上っていた際、途中で落とし物をしたので屈んで拾おうとしたところ、バランスを崩して転倒し、右肋軟骨を損傷した。	28	2	413	～	500 999
68	2020	10	8 ～ 9	作業場に向かって早歩きで移動していたところ、コンクリートの段差でつまずいて転倒し、右手首を捻挫した。	53	2	417	10～	29
69	2020	10	13 ～ 14	工場内で、NC旋盤の機械を停止させ、チャックを交換しようとした。通常はフットスイッチを踏んでチャックを本体から外して交換するが、フットスイッチから足が外れ、チャックと本体の間に左手中指と薬指を挟んで骨折した。	33	7	151	1～9	
70	2020	10	14 ～ 15	スポット溶接作業中、電極が汚れてきたので一旦作業を中断し、サンドペーパーで磨こうとした。その際、指の位置を確認せず、圧力計を見ながらフットスイッチを踏み込んだところ、左手親指を電極間に挟んで骨折した。	20	7	339	～	100 299
			10						100

71	2020	10	～ 11	製品検査場で、製品を各場所から集める作業中、作業量が多く、歩く量が増えたため、両変形性膝関節症を発症した。	49	19	921	～ 299
72	2020	10	～ 11	工場では、端子圧着機を使用し、銅線に端子を圧着作業中、機械に人差し指を入れ調整した際、作動フットペダルを踏み、左人差し指が挟まれ、剥離骨折した。	36	7	169	30～ 49
73	2020	10	～ 16	工場では、プラスチック製品の金型分解中、部品をクレーンで吊り上げず作業したため、部品が左手に落下し、左手中指を骨折した。	53	4	159	10～ 29
74	2020	10	～ 16	客先のビニールハウスで、商品取付け作業中、乗っていた脚立からバランスを崩して転倒し、右尺骨骨幹部を折った。	60	1	371	30～ 49
75	2020	11	～ 8	組み付け作業でエアードライバーを使用する作業環境で、1日約3000本（500台×3本×2部品）のねじ締め作業に従事していて、右手薬指に痛みが出て、右環指腱鞘炎を発症した。	22	19	364	1000 ～ 9999
76	2020	11	～ 11	工場検査室で検査完了品が入った製品箱（重さ7.4kg）をパレットに移す作業中、前かがみの状態で製品箱を奥に積み重ねた際に急性腰痛症を発症した。	40	19	611	30～ 49
77	2020	11	～ 11	工場内にて、台車で部品を移動中、部品が段ボールごと落下した際、足の甲に当たり、右足第1中足骨を折った。	25	4	362	30～ 49
78	2020	11	～ 21	伸線工場では伸線ボビン（約40kg）に巻かれたロス線処理していた。ボビンをパレット（高さ約10cm）に載せようとしたとき、急性腰痛症を発症した。	28	19	521	100 ～ 299
79	2020	11	～ 12	工場内で故障した攪拌機の修理中、コンセントにプラグを入れて機械を手で持ち上げ、作動を確認した。本来は、確認した後にプラグをコンセントから抜くべきところ、抜かずにシャフトを左手で持って作業台に置いたため、手袋が巻き込まれ、左手薬指を骨	24	7	162	1～9

				折し、小指の腱が断裂した。				
80	2020	11	11 ～ 12	ワークの薬液洗浄中、波打つ薬液が保護手袋の中に入り、右上腕に化学熱傷を負った。	57	12	519	10～ 29
81	2020	11	20 ～ 21	作業場で、製品をラップ包装作業中、ラップを手に持ち台車に向かう際、バランスを崩し、尻もちをつき転倒して、下唇裂傷、恥骨を折った。	41	2	417	500 ～ 999
82	2020	12	10 ～ 11	工場車庫前で木製の棚の整理中、棚を横に倒しているときに手が滑り右足に棚が落下して、右母趾開放性粉碎骨折を負った。安全靴ではなく長靴で作業をしていた。	60	4	391	100 ～ 299
83	2020	12	9 ～ 10	板金業者で製作された製品の引き取り作業中、トラック（3t）荷台にクレーンで積み込み、吊り具の帯を外すため製品の下に枕木を噛ませて荷を降ろした。帯を外し、枕木を取り除く際、製品を手で持ち上げる人と、枕木を抜く人とのタイミングが合わず、荷を持ち上げている者が重量に耐えられず、左手中指が製品と荷台の間に挟まれ、挫創を負った。	42	7	521	30～ 49
84	2020	12	18 ～ 19	工場内で片付け中、パレットにつまずき転倒して、左大腿骨を折った。	50	2	379	1～9
85	2020	12	15 ～ 16	工場内作業場で圧入作業中、治具に挟み込んだ部品を、電源を切らずに取ろうとした際、右中指を骨折した。	23	6	364	10～ 29
86	2020	12	14 ～ 15	トラバーリフトの荷物を降ろし、定位置へ戻そうとしていたとき、床のくぼみにリフトのタイヤが引っ掛かり、リフトが転倒して、避けようとして尻もちをつき、左大腿骨を折った。	57	2	362	30～ 49
			15	負極塗付工程の巻き出し部で、専用リフターを使い木管を巻き出し機から取り外す作業中、クランプを開いたところ、木管が右側				1000

87	2020	12	～ 16	クランプに共連れしたので、元の状態に戻そうとクランプを閉めようとしたが閉まらなかった。左手で木管を押したとき、急にクランプが閉まり、クランプと木管の間に左手小指の付け根が挟まり、骨折した。	23	7	121	～ 9999
88	2020	12	～ 12	11 工場内で巻線の成型作業時、プレス機作動中に右手をプレスの差 込口に置いていたため、右手人差し指がプレス機に潰され、指先 12 が挫創、骨折した。	56	7	154	10～ 29
89	2020	12	～ 12	11 年末の大掃除中、事務所裏側の窓ガラスを外から拭いていたとこ ろ、雑巾が約1m下の地面に落ちたため、拾おうと土手から降りた 12 際に足を滑らせて転倒し、右足を複雑骨折した。	49	2	711	1～9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。